

飽和需要と構造変化

松前龍宜*

東京工業大学大学院

概要

ここでは、階層的選好によって生じる構造変化を伴うモデルを考察する。既存の産業の財に対する消費需要が飽和する時点と新しい消費需要をもたらす産業が到達する時点の関係に着目して、飽和需要の制約下で現在の雇用水準を確保するために必要とされる条件を導く。新しい産業が到達しておらず飽和需要に直面しているにもかかわらず生産性が向上する場合、既存産業において労働の超過供給が生じる。ここではそのような超過労働供給によって失業に直面し、人口規模が縮小することを通じて、全産業の財に対する需要が減少する状況を考える。そして新しい産業の到達を伴わない生産性の向上が、総需要の低下をもたらす可能性があることを、簡単な数値例を用いて説明する。

Keywords 構造変化, 階層的選好, 飽和需要

JEL classification O11, O31

*東京工業大学大学院社会理工学研究科社会工学専攻博士後期課程, 東京都目黒区大岡山 2-12-1,
phone: 03-5734-2651, fax: 03-5734-2651, E-mail: m-tatsu@soc.titech.ac.jp